

保証書

保証期間内に取扱説明書の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

形名	エア-ハンマーキットPRO AHM-881K		お 買 い 上 げ 日	保証期間
			平成 年 月 日	1 年
お客様	ご住所	〒		
	ご芳名			
	電 話	()		
販売店	住 所			
	店 名	☎ ()		

上記欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ)お買い上げ後の落下、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
 - (ニ)本書の提示がない場合。
 - (ホ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、当社までご相談下さい。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保存して下さい。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。

エア-ハンマーキットPRO AHM-881K

取扱説明書

このたびはエア-ハンマーキットPROをお買い求めいただき誠にありがとうございます。

安全にご使用頂くために、取扱説明書を必ずお読み下さい。
又、大切に手元に保管して下さい。



発売元
 藤原産業株式会社
兵庫県三木市福井2115-1 TEL. 0794-86-8200(代)

 SINCE 1957
Fujiwara
Sangyo Co., Ltd.
HYOGO MKI

安全性に関する警告・注意事項

※ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分にご理解の上、正しくご使用下さい。

■エアーツールの作動環境は、

警告

- 適正な空気圧力で使用して下さい。
指定空気圧力以上での使用は製品の破損・事故の原因となりますので、圧力計、減圧弁等を設置して、必ず適正な空気圧力(手元動圧)で使用して下さい。
- エアークンプレッサ以外の動力源を使用しないで下さい。
エアーツールはエアークンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス(酸素・アセチレンガス・プロパンガス等)を使用すると爆発の危険があります。
- 適正なエアークンホースを使用して下さい。
エアークンホースは耐油性で外面が耐摩耗性を有し、規定内径以上の作業空気圧力に適合したものを使用して下さい。また、老朽化したものや極端に長いものは使用しないで下さい。
- エアークンホース取付具は確実に取りつけて下さい。
取付不備によりエアークンホースがはずれた場合、エアークンの噴射によりエアークンホースが飛び回り、非常に危険ですので、エアークンホース取付具はエアークンホースおよびエアーツールに確実に取りつけて下さい。

■作業環境は、

警告

- 作業場は十分に明るくし、いつもきれいに保って下さい。
暗い作業場や散らかった作業場は事故の恐れがあります。照明等に留意し、整理整頓を心がけて下さい。
- 爆発の危険性のあるところでは使用しないで下さい。
エアーツールは引火や爆発の恐れがある場所では、危険ですので絶対に使用しないで下さい。

■作業時の服装は、

警告

- きちんとした服装で作業して下さい。
ダブダブの服やネックレス等の装身具は着用せず、作業に適した服装で作業して下さい。また、長い髪の毛がエアーツールにかからないように、帽子で覆って下さい。
- 作業保護具を使用して下さい。
人体保護のため、作業に応じたヘルメット・保護メガネ・耳栓・防塵マスク・安全靴等の作業保護具を使用して下さい。

■エアーツールを使用する場合は、

警告

- 加工物をしっかりと固定して下さい。
加工物の固定が不十分な場合、加工物が飛んでけがをする恐れがありますので、確実に固定して作業を行って下さい。
- 可動部に手や布きれ等を近づけないで下さい。
使用中は非常に危険ですので、可動部に手や布きれ等を絶対に近づけないで下さい。
- 適当に休憩を行って下さい。
長時間の連続作業は疾病等の原因となりますので、適当に休憩を行って下さい。
また痛み等、身体に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止し、医師の診断を受け、その指示に従って下さい。
- 無理な姿勢での作業は危険です。
エアーツールを確実に保持し、突発的な動きにも対応できるようにして、安定した作業姿勢で作業を行って下さい。
- 不意な始動を避けて下さい。
エアークンホース持続する場合は、始動スイッチが停止位置になっているかを確認して下さい。また、エアーツールを持ち運ぶ場合は、始動スイッチに手をかけないで下さい。
- 電気に対して接触させないで下さい。
エアーツールは電気との接触に対して絶縁されていませんので、電気に対し接触させないように注意して使用して下さい。
- 異常を感じた場合は直ちに使用を中止して下さい。
使用中に異常を感じた場合は直ちに使用を中止して、点検・修理を依頼して下さい。

安全性に関する警告・注意事項

■その他

警告

- 指定された用途以外に使用しないで下さい。
指定用途以外への使用は事故の原因となりますので、絶対に行わないで下さい。
- 改造は絶対にしないで下さい。
改造を行っての使用は事故の原因となりますので、絶対に行わないで下さい。
- 部品を取り外さないで下さい。
取りつけてある部品やねじ類を取り外しての使用は、事故の原因となりますので、絶対に行わないで下さい。
- 危険が予想される場合はエアークンの供給を止め、エアークンホースをエアーツールから外して下さい。
使用しない場合、または保守点検を行う場合、先端工具・トイシ・チゼル等の交換を行う場合、その他危険が予想される場合は必ずエアークンの供給を止め、エアークンホースをエアーツールから外して下さい。

■エアーツール使用時の基本的な注意事項について、

注意

- 作業は十分注意して行って下さい。
軽率な行動や非常識な行動および疲れている場合の使用等はけがや事故の原因となりますので、油断しないで、十分注意して作業を行って下さい。
- 関係者以外は近づけないで下さい。
作業場所には、作業関係者以外は近づけないで下さい。特に子供は危険です。
- 無理な使用は行わないで下さい。
過負荷での無理な使用は、エアーツールの破損や故障の原因となりますので、能力以内で使用するようにして下さい。
- 排気の方向には十分に注意して下さい。
事故や疾病の原因となりますので、排気が直接目や耳にあたらないように、排気方向に注意して使用して下さい。
- エアーツールの取扱いは丁寧にやって下さい。
乱暴な取扱いは事故や故障の原因となりますので、エアーツールを投げたり落としたりして、衝撃を与えないようにして下さい。
- エアークンホースの取扱いは丁寧にやって下さい。
エアークンホースをエアーツールの支えや、上げ下げに使用しないで下さい。
エアークンホースの破損は事故の原因となります。
- 高所作業はエアーツールの落下に注意して下さい。
エアーツールの落下による事故を防止するため、高所での作業時は安全ワイヤの使用等の落下防止策を講じて下さい。
- 保管にも十分な配慮を行って下さい。
使用しない場合は、十分に手入れを行い、子供の手の届かない、乾燥した場所に保管して下さい。

■保守・点検・修理について、

注意

- 使用前には必ず点検を行って下さい。
使用前にはねじ部のゆるみや部品の損傷等がないか必ず点検して下さい。性能の低下や故障の原因となるばかりでなく、危険をともなう恐れがあります。
- 保守・点検を必ず実施して下さい。
安全に効率よく作業していただくために、保守・点検を怠らないで下さい。
- 作業前・作業後はエアークンフィルタ・エアークンコンプレッサタンク内の水抜きを行って下さい。
- 修理は弊社にご依頼下さい。
修理は弊社に、お買い求めの販売店または代理店等を通じご依頼下さい。お客様の勝手な処置により、事故や不具合が生じた場合は責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。
- いつも安全に効率よくお使いいただくために10万回もしくは3カ月ごとの定期点検をおすすめします。

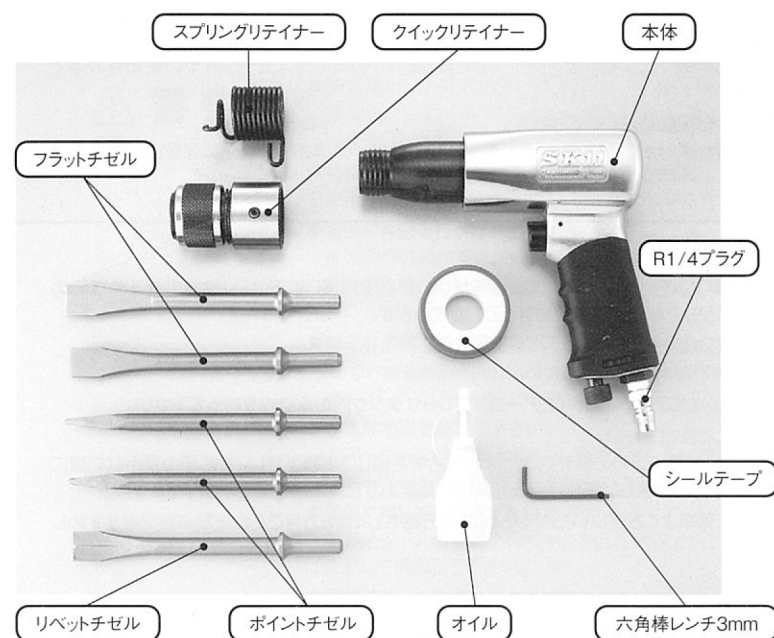
仕様

型式	打撃数 無負荷時	空気消費量	使用空気圧	質量	本体サイズ H×W×D(mm)	空気取入口	推奨エアース	参考騒音値
AHM-881K	3200回/分	0.6MPa時340L/min(大気圧換算値)	0.6MPa	1.7kg	175×170×50	R1/4(PT1/4×S)	内径6.5mm以上	100dB

推奨コンプレッサー2馬力以上(断続使用条件)

※この商品は単体では、ご使用になれません。別途エアコンプレッサー、エアース、接続継手等が必要です。

各部の名称

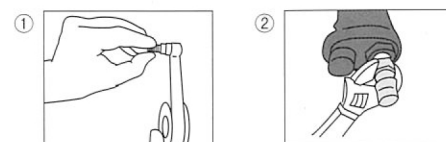


付属品・部品

(a) 本体	1個
(b) スプリングリテーナー	1個
(c) クイックリテーナー	1個
(d) R1/4プラグ	1個
(e) フラットチゼル	2個
(f) ポイントチゼル	2個
(g) リベットチゼル	1個
(h) シールテープ	1個
(i) オイル	1個
(j) 取扱説明書	1個
(k) 六角棒レンチ3mm	1個

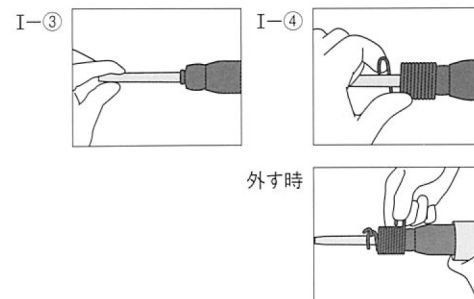
使用方法

- ① プラグ(d)のネジ部にシールテープ(h)を5cm程度巻きつけて下さい。
- ② 本体(a)の空気取入口のキャップをはずしてプラグ(d)をスパナ等でしっかり締め込みます。



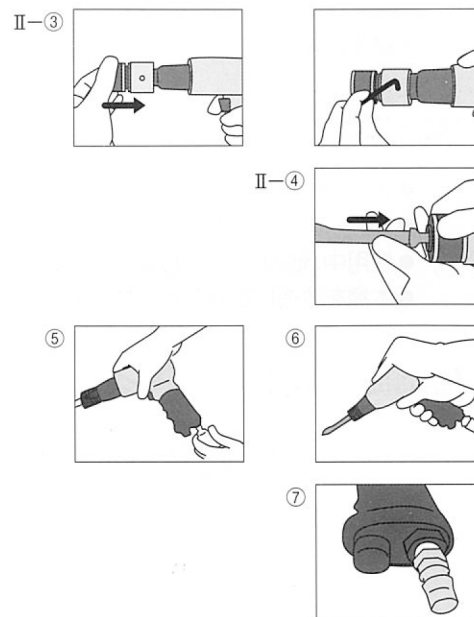
●スプリングリテーナー(b)を使用する場合

- ③ 作業に適したチゼル(e) (f) (g)を本体(a)のシリンダーの穴へ軸を差し込みます。
- ④ スプリングリテーナー(b)をシリンダー先端にねじ込みます。先端側の突起を押しながらまわすと簡単に回ります。ねじ山を合わせながらしっかりねじ込みます。外す時は本体側の突起を押しながら回して下さい。



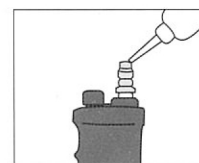
●クイックリテーナー(c)を使用する場合

- ③ クイックリテーナーをシリンダーにしっかりねじ込みます。クイックリテーナーの側面の六角ネジを六角棒で締め付けます。クイックリテーナーをまわして回らない程度の締め付けで結構です。
- ④ クイックリテーナーの先端側のスリーブを本体側にスライドさせて作業に適したチゼル(e) (f) (g)をクイックリテーナーの穴へ軸を差し込みます。外す時は逆の要領で外して下さい。
- ⑤ 空気取入口のプラグにコンプレッサーを繋いだホースのソケットを差し込みます。繋ぐときは本体の上をしっかりと持ちトリガーボタンに絶対触れないで下さい。
- ⑥ 正しい姿勢でしっかりとグリップを握ってください。チゼル先端を対象物に当ててトリガーボタンを押して下さい。
- ⑦ 打撃力は流量調整ネジで調整できます。時計回りにまわすと弱くなり、反時計回りにまわすと強くなります。



給油のお願い

- 本製品は使用前と使用後、または長時間ご使用の場合はその合間に注油を行って下さい。
- 注油は空気取入口からオイルを数滴いれ、本体を空ふかしして下さい。
- オイルは付属品、または市販のエアーツールオイルまたはタービンオイル ISO VG32をご使用下さい。
- ※ オイルを注入すると本体のシリンダー付近から循環したオイルが吹き出ますが正常です。
- オイルの吹き出しが気になる場合は空ふかし後ふき取ってからご使用下さい。
- ※ 空ふかし時はチゼルを抜いて、行ってください。



チゼルの用途



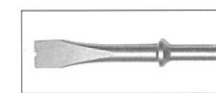
フラットチゼル

石材・コンクリートのハツリ。タイルなどのはがし作業、塗装はがし。



ポイントチゼル

石材・コンクリートのハツリ。



リベットチゼル

リベット・ボルト・ネジの切断。

ご使用についての注意

【エアースーツについて】

- ①傷がついていたり、破損の恐れがあるエアースーツは使用しないで下さい。
- ②内径φ6mm以上のエアースーツを使用して下さい。
 - 水道ホースなどは絶対に使用しないで下さい。ホースが破裂します。
 - 内径が細いと圧力降下の原因となり、十分な能力ができません。
- ③エアースーツを接続するときは、エアースーツのレバーのスイッチに指を掛けしないで下さい。

【空気圧について】

- ①空気圧は0.6MPa(6.3kgf/cm²)でご使用下さい。
- ②使用しないときや、修理のときも、必ずホースを外して下さい。

【安全にご使用いただくために】

- 作業中は保護メガネ、防塵マスク、耳栓などを着用して下さい。
- エアースーツを接続したまま、ホースを持って運んだり、引っ張ることはやめて下さい。
- 使用中、他の人や、特にお子様は近づけないで下さい。
- 本機を改造してのご使用は危険です。絶対に行なわないで下さい。

【給油について】

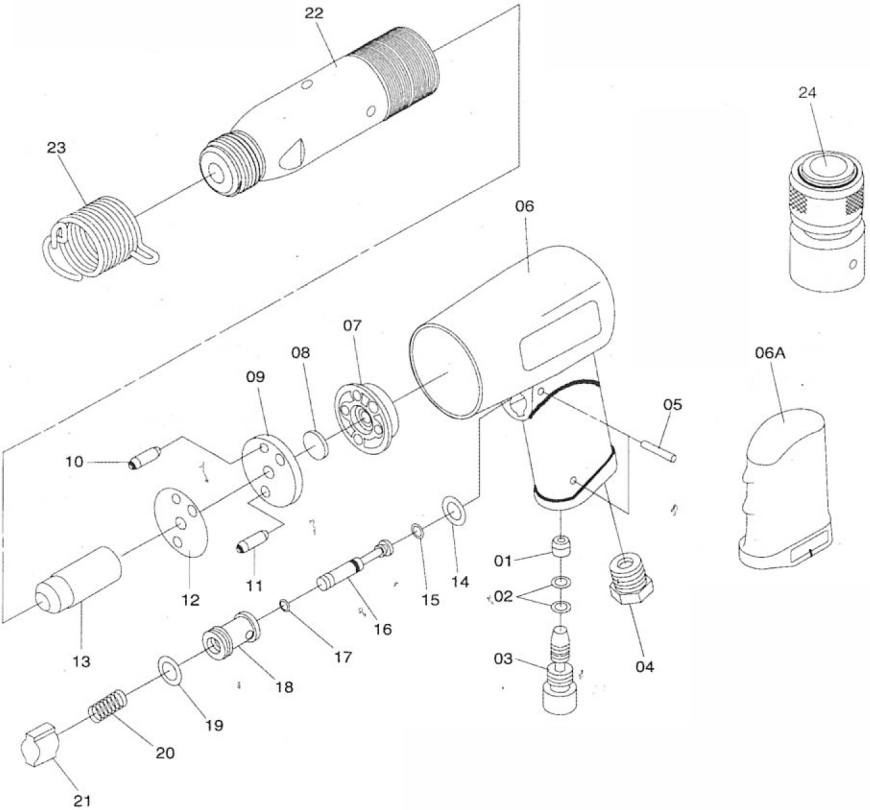
エアースーツを正常に維持するために、使用前・中・後の給油作業を欠かさないで下さい。
給油をまめにしていただくことで、本体内部のゴミを洗い流し、サビからも保護されます。
給油頻度が少ないと、エアースーツの動きも力も弱くなり、最後には動かなくなります。

※本製品は品質向上の為、予告なく仕様を変更する場合がございます。

故障のときのチェックと修理方法

故障	原因	処理方法
動きが悪い	空気圧が低い	圧力を上げる(規定内) エアリークがないかチェックする
動かない	ツール内部にスラッジや カーボンのつまり	SAE#10相等の潤滑油と灯油の 混合液を空気と一緒に吹き込む
ツールより水滴 が吹き出す	コンプレッサーのタンクに 水分が溜まっている	タンクの水を抜く (ドレンコックより)

■パーツリスト



パーツNo.	パーツ名	数量
1	ギャップ	1
2	Oリング02	2
3	レギュレーター	1
4	インレットブッシング	1
5	ロールピン	2
6	ハウジング	1
6A	コンフォートグリップ	1
7	アッパーバルブブロック	1
8	バルブディスク	1
9	ローワーバルブブロック	1
10	バルブピン10	1
11	バルブピン11	1
12	スパーサーワッシャー	1

パーツNo.	パーツ名	数量
13	ピストン	1
14	Oリング14	1
15	Oリング15	1
16	バルブステム	1
17	Oリング17	1
18	バルブブッシング	1
19	Oリング19	1
20	スプリング20	1
21	トリガーボタン	1
22	シリンダー	1
23	スプリングリテーナー	1
24	クイックリテーナー	1